



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 富士製薬工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4554 URL <https://www.fujipharma.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 孝之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 森田 周平 (TEL) 03-3556-3344
 経営企画部長
 四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 2024年6月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	21,388	11.2	1,443	△20.9	2,165	△11.8	4,257	140.2
2023年9月期第2四半期	19,225	8.5	1,824	△32.7	2,456	△14.3	1,772	△3.3

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 3,349百万円(△34.6%) 2023年9月期第2四半期 5,120百万円(△47.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	175.15	—
2023年9月期第2四半期	72.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	85,006	44,066	51.8
2023年9月期	85,332	41,177	48.3

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 44,063百万円 2023年9月期 41,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	17.00	—	20.00	37.00
2024年9月期	—	20.00			
2024年9月期(予想)			—	22.50	42.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,060	12.6	3,990	3.4	4,602	1.8	6,185	80.0	254.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	24,753,800株	2023年9月期	24,753,800株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	441,500株	2023年9月期	450,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	24,308,839株	2023年9月期2Q	24,299,826株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（5）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	2
(4) 研究開発活動	3
(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第2四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、不安定な世界情勢が続く原材料価格やエネルギー価格が高騰するなか円安傾向が続いています。

また、医療用医薬品業界におきましては、社会保障費の増加に伴い、薬剤費抑制を目的とした薬価改定が2021年4月以来毎年実施されており、その事業環境はますます厳しくなっておりますが、当社製品につきましては、不採算品再算定による一部製品における薬価引上げの影響により、薬価改定率は全体でプラス1.2%となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、天然型黄体ホルモン製剤「エフメノ®カプセル100mg」や抗悪性腫瘍剤「ドキシル®注20mg」を中心とする主力の女性領域の製剤、並びに非イオン性尿路・血管造影剤「イオパミドール注」が順調に伸長した結果、21,388百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

利益面につきましては、FSN-013申請に伴うライセンサーへのマイルストンの支払い、米国Vistagen社が開発を進める(Phase2)次世代更年期障害治療薬の日本での開発・販売に関する独占交渉権の対価を研究開発費として計上したことによる研究開発費用の増加、また5月薬価収載予定の「ウステキヌマブ BS 皮下注 45mg」(当社単独承認)の販売のために、乾癬・消化器領域の専門営業組織を新たに構築したことなどによる人件費の増加により営業利益は1,443百万円(同20.9%減)、経常利益は2,165百万円(同11.8%減)となりましたが、営業利益に減価償却費・研究開発費を足し戻した本業によるキャッシュ創出力の指標であるEBITDARは4,716百万円(同5.1%増)となり、収益力は着実に伸びています。この結果昨年11月の投資有価証券売却益による特別利益と併せて親会社株主に帰属する四半期純利益は4,257百万円(同140.2%増)となりました。

なお、当社グループは、医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は85,006百万円となり、前連結会計年度末比325百万円の減少、純資産は44,066百万円と前連結会計年度末に比べ2,888百万円の増加となり、自己資本比率は51.8%となりました。

(資産)

資産の部においては、流動資産については、棚卸資産が増加したこと等により678百万円の増加、固定資産については、投資有価証券の売却等により1,004百万円減少しております。

(負債)

負債の部においては、流動負債については、1年内返済予定の長期借入金の増加等により2,362百万円増加しております。固定負債についてはリース債務が増加した一方で、長期借入金が減少したこと等により5,576百万円減少しております。

(純資産)

純資産の部においては、その他有価証券評価差額金の減少及び利益剰余金の増加等により、2,888百万円増加しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は1,375百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益6,027百万円に、減価償却費1,546百万円を加える一方、投資有価証券売却益3,118百万円及び棚卸資産の増加額1,438百万円等により、支出は445百万円(前年同期は1,516百万円の収入)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出1,884百万円及び無形固定資産の取得による支出977百万円、長期前払費用による支出1,104百万円があった一方、投資有価証券の売却による収入5,356百万円があったこと等により投資活動による収入は1,457百万円(前年同期は2,872百万円の支出)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済等による支出3,810百万円等があった一方、セール・アンド・リースバックによる収入2,331百万円があったこと等により、財務活動による支出は1,998百万円(前年同期は3,058百万円の収入)となりました。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、1,726百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月27日公表の業績予想を第2四半期までの状況等を踏まえ、一部修正しました。但し、親会社株主に帰属する当期純利益に変更はありません。

詳細につきましては、本日公表しました「第2四半期業績予想と実績の差異および通期業績予想の一部修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	48,926	4,907	5,562	6,185	254.51
今回修正予想 (B)	46,060	3,990	4,602	6,185	254.51
増減額 (B-A)	△2,866	△917	△960	0	0
増減率 (%)	△5.9	△18.7	△17.3	0.0	0.0
(参考) 前期連結実績 (2023年9月期)	40,889	3,858	4,519	3,435	141.37

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

(役員向け株式交付信託について)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値増大への貢献意欲を高めることを目的として、当社の取締役(代表取締役会長および社外取締役を除きます。)及び執行役員(株式交付規程に定める受益者要件を満たす者)を対象とした業績連動型株式報酬制度「役員向け株式交付信託」を導入しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として設定した信託を通じて当社株式(当社普通株式。以下同じ)を取得し、取締役等に対して、当社取締役会が定める役員等株式交付規程に従って、その役位及び業績に応じて付与されるポイントに基づき、信託を通じて当社株式及び金銭を毎年交付する株式報酬制度であります。取締役会は、役員等株式交付規程に従い、毎年12月にポイント算定の基礎となる金額を決議し、それに応じた株式を、翌年11月に交付いたします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く)により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度25百万円、17,541株、当第2四半期連結会計期間11百万円、7,935株であります。

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「デリバティブ評価損益」及び「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「長期前払費用による支出」の重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた1,251百万円は、「デリバティブ評価損益」△487百万円、「その他」1,739百万円として組み替え、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△110百万円は、「長期前払費用による支出」△110百万円として組み替えております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,324	1,375
受取手形	1,116	1,070
売掛金	15,188	15,287
商品及び製品	5,138	5,724
仕掛品	3,861	3,917
原材料及び貯蔵品	10,372	11,209
前渡金	166	404
未収入金	216	63
その他	730	740
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	39,114	39,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,230	10,001
機械装置及び運搬具(純額)	3,233	2,712
土地	1,105	1,241
リース資産(純額)	3,216	5,010
建設仮勘定	2,102	1,430
その他(純額)	658	697
有形固定資産合計	20,547	21,093
無形固定資産		
のれん	412	251
販売権	9,343	9,801
その他	737	744
無形固定資産合計	10,493	10,797
投資その他の資産		
投資有価証券	10,587	7,724
長期前渡金	2,300	2,300
繰延税金資産	475	603
その他	1,813	2,693
投資その他の資産合計	15,177	13,322
固定資産合計	46,218	45,213
資産合計	85,332	85,006

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,672	4,961
短期借入金	11,300	11,800
1年内償還予定の社債	600	600
1年内返済予定の長期借入金	4,610	7,100
リース債務	514	1,412
未払法人税等	484	1,461
賞与引当金	872	521
役員賞与引当金	11	5
その他	5,704	4,271
流動負債合計	29,771	32,133
固定負債		
社債	2,100	1,800
長期借入金	6,583	283
リース債務	3,241	4,311
退職給付に係る負債	1,863	1,936
その他	595	475
固定負債合計	14,383	8,807
負債合計	44,155	40,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,799	3,799
資本剰余金	4,409	4,409
利益剰余金	29,082	32,866
自己株式	△567	△553
株主資本合計	36,723	40,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,414	1,324
繰延ヘッジ損益	2	45
為替換算調整勘定	1,996	2,138
退職給付に係る調整累計額	37	34
その他の包括利益累計額合計	4,451	3,542
非支配株主持分	2	3
純資産合計	41,177	44,066
負債純資産合計	85,332	85,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	19,225	21,388
売上原価	11,601	13,154
売上総利益	7,623	8,233
販売費及び一般管理費	5,799	6,789
営業利益	1,824	1,443
営業外収益		
受取利息	0	2
為替差益	21	—
寄付金収入	110	—
デリバティブ評価益	487	733
その他	84	82
営業外収益合計	704	817
営業外費用		
支払利息	52	83
社債発行費	14	—
為替差損	—	3
その他	5	9
営業外費用合計	72	95
経常利益	2,456	2,165
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,118
寄付金収入	—	835
特別利益合計	—	3,953
特別損失		
固定資産圧縮損	—	60
災害による損失	—	30
特別損失合計	—	91
税金等調整前四半期純利益	2,456	6,027
法人税、住民税及び事業税	367	1,432
法人税等調整額	316	337
法人税等合計	683	1,770
四半期純利益	1,772	4,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,772	4,257

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	1,772	4,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,167	△1,090
繰延ヘッジ損益	△15	42
為替換算調整勘定	196	142
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	3,347	△908
四半期包括利益	5,120	3,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,120	3,349
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,456	6,027
減価償却費	1,294	1,546
のれん償却額	157	167
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△360	△351
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	71	61
受取利息及び受取配当金	△0	△2
支払利息	52	83
為替差損益(△は益)	△39	△19
デリバティブ評価損益(△は益)	△487	△733
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,118
売上債権の増減額(△は増加)	△1,674	△34
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,896	△1,438
仕入債務の増減額(△は減少)	807	△730
その他	1,739	△1,302
小計	2,116	149
利息及び配当金の受取額	0	2
利息の支払額	△49	△81
法人税等の支払額	△551	△516
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,516	△445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	5,356
有形固定資産の取得による支出	△1,248	△1,884
有形固定資産の売却による収入	5	1
無形固定資産の取得による支出	△276	△977
長期前渡金による支出	△1,242	—
長期前払費用による支出	△110	△1,104
その他	—	66
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,872	1,457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000	500
長期借入金の返済による支出	△1,220	△3,810
社債の発行による収入	2,985	—
社債の償還による支出	—	△300
配当金の支払額	△486	△432
リース債務の返済による支出	△221	△287
セール・アンド・リースバックによる収入	—	2,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,058	△1,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	33	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,735	△948
現金及び現金同等物の期首残高	3,546	2,324
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,282	1,375

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、医薬品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。